



南国俳壇

漸くに暑さの過ぎし白露かな
飼はれ居る鈴虫かとも付ちて聞く
摘みてすぐ萎える秋の草なれど
炎天がふといとを空しゅうす
無風帯の蟬せつせつと紅い花
幕城より袖に寝さくる糸蜻蛉
雲の峰いつもの高き師の思くる
ひぐらしの声の離るる高野杉
海女の子の手花火海へ滴らす

小松千都 (柿の実念)
井上さえ ()
橋本きよ女 ()
岡崎美枝 (念冬句念)
公文政子 ()
馬場左枝 ()
橋本和子 (灯俳句念)
岡田静子 ()
田村一翠 ()

国府保育所が落成



久礼田小学校 西岡万平校長、生徒二百八十三人の体育館建設起工式が、九月六日午後から、校舎東側の敷地に小笠原市長をはじめ地元市議ら関係者を集め、行われました。

これは、これまでは講堂を使っていたものが老朽化したため、体育館を建設するもの。

鉄筋鉄骨造りで、床面積五百七十三平方メートル、約五千万円の経費となつていきます。これには地域住民の寄付三百十万円もあり、来年一月完成の予定となっております。

久礼田小体育館を着工



南国歌壇

そのあたり明るく染めて咲き続く
夾竹桃の確かなる位置
大埔 谷本深雪
はつ秋をとめのもゆるいのちと
も 熟き色なすけいとうの花
大埔 中田憲秀

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ
人生の一度しかない今日が暮れ
古市 島田八重子
星取ると高く指し上ぐ孫を卒
立田 清岡照子
熟通い親の投資の華な夢
植田 吉本其梅
共稼ぎ別々に出る勘ねた朝
常通寺島 橋田井波



秋の交通安全運動

九月二十一日から十日間、秋の交通安全運動が行われ、本市では南国バイパス明見と三十二号線岡豊で安全運転を呼びかけました。

この日は、交通安全母の会や婦人会、交通安全協会の市民組織、警察、市役所などから約三十名が出で、通過するドライバー全員に

『農機具まつり』盛会で終る

今年で第三十回を迎えた『高知県農機具まつり』が、九月九日から三日間、甘枝の農業試験場に約四十社の農機具メーカーが出店して開かれました。

この催しは、県農業機械商業協同組合、南国市の共催、高知県などが後援して実施されたもので、三日間の入場者は約一万三千人と、なかなかの盛況でした。

内容は、例年どおりの農機具の展示や実演、即売、農事相談のほか、三十回を記念して八歳以下の子供たちを対象にした『めり絵』を募集、訪れたお母さんたちに人気を呼んでいました。

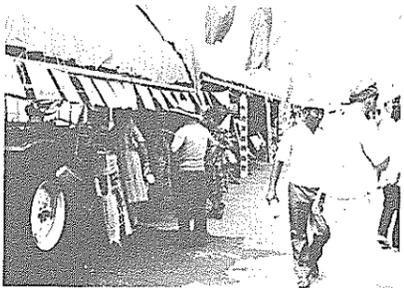
また、県の催しとして『試験研究発表会』として、促成ピーマンの温度管理、最近の水稲品種、機械化と婦人労働、大豆の上手な食

べ方などが行われました。

今回の特色は『家族ぐるみ』で女性をはじめ参加層が厚くなったこと。

めぐるしく動く農業情勢のなかで特にこの『まつり』は農業経営の技術的、精神的な『節目』にまで定着してきたようです。

この定着した『まつり』を今後ますます発展させていくためには、主催者をはじめ関係機関がたゆまぬ努力をし、いろいろな課題をなくしていく必要を感じました。



狸のたたり



琴平山のふもとに近いところに相当広いひのきの植林がある。時は終戦直後の混乱期で人手が少なく、下草は伸び放題になっていた。たまたま近所で飲み友だちの兼助、吉馬、直太郎の三人がこの話を聞いて下草刈りをするようになった。

早速とりかかったが第一日目から大失敗。一番若い兼助の力まかせに振り下ろした鎌が、いやというほど自分の膝小僧にあたったからたまらない。すぐ病院に運ばれたがなかなかの重傷。

次の日の夕方、今度は吉馬が左の人差指を切ってしまった。二日続くこの災難にみなうす気味悪くなったが、氣じょうぶな直太郎は二人を休ませながら、

毎日一人で働き続けた。ある日の昼過ぎ、直太郎が木の根っ子に腰を下ろして眠っていると、突然吉馬の家内がやってきた。「この災難は狸のたたりということじゃ、まじゅうをもつておことわりしてきたぜ。」

よく見るとそばに狸の巣らしい大きな穴がある。二人はまじゅうを供え、頭を下げておことわりした。

吉馬の妻の帰った後で、直太郎は、こつそりまじゅうを一つ失敬したが、なかなかうまい。も一つ、も一つと食べるうちにすっかり食べてしまった。

四、五日目のこと、直太郎は突然山で腹が痛みだした。やっこのことで家に帰ったが痛みはとまらない。医者ほどこも悪くないという。「これはつきり狸のたたりじゃ。医者の薬ではだめだ。」直太郎の家内は心配し早速、「きとう師」の門をくぐった。お祈りが熱気をおびけると狸が乗り移ったのか急に形相が変わり「けしからんぞ、お前の主人は事もあらうに、おれに供えたまじゅうを食ってしまった。すぐ倍にして返せ。さもなくば病氣は決して治してやらんぞ。」家内は色青さめて家に帰り、



「ご家庭で話し合せて答えてください。答えは今月号の広報に出ています。」

■もんだい・市民参加の『文化の祭り』である第五回文化祭が、○月二十九日から開かれます。

■しめきり・十月十六日(月)

■おくり先・〒783 南国市大埔甲2301 南国市役所内 広報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳・職業・住所を書いてください。

■しょうひん・特賞千円〽三人

■残念賞(記念品) 五人

第八十四回正解者発表

■こたえ ①月二十六日でした。

■特賞・千円〽三人

杉本 薫さん(大地)

大和田哲彦くん(稲生北地)

竹内靖博くん(大地)

■残念賞・記念品〽五人

橋村宏朗(岡豊町滝本) 竹村貞夫(久礼田) 山本トミル(大地) 松岡道正(稲生) 田村美智子(後免町)